



# OBIHIRO ROTARY CLUB DISTRICT 2500

会長 工藤大輔

方針「Merry Rotary!」-ロータリーで盛り上がる!-

No.3480

第3798回例会

令和5年9月20日

2023-24年度国際ロータリーのテーマ 世界に希望を生み出そう

## ■会長報告

工藤 大輔 会長



みなさんこんにちは。  
今日は今月の理事会の内容についてご報告させていただきます。

まず9月の3つのプログラム・事業が終わっています。第1週は急ぎよ新会員卓話を入れさせていただきました。佐藤会員の人となりを知るきっかけとなりました。寺小屋と家族野遊会については後程話させていただきます。

本日は中長期ビジョン委員会担当、来週は広報委員会担当で、千葉前委員長より昨年度実施しましたアンケートの報告と今後についてお話いただきます。

10月4日は米山記念奨学委員会担当で、北見工業大学在学中のイム・デヒョンさんに体験談をお話していただきます。10月10日は出前講座の実施、南町中学校2年生に向けて行きます。講師は佐藤真康会員、北村貴会員、松岡準志会員、小田切義憲会員を予定しています。

11日の例会プログラムはロータリー情報記録保存委員会担当で、川上委員長より委員会の役割についてお話していただきます。18日は青少年育成委員会担当で、帯広ロータークラブからの報告を予定しています。21日土曜日は400mベンチメンテナンスです。会員の皆様とご家族のみなさまにも参加いただければと思いますので、あらためて青少年育成委員会より案内させていただきます。

第2回新会員オリエンテーションの事業計画があがってまいりましたが、別事業と重なってしまいましたので、再度日程調整をお願い致しました。25日は会員増強委員会担当となっております。

ここからはすでに終了しました事業などについてご報告致します。



帯広RC 伝統と歴史、その意味とは (概要編)

経済的互惠関係  
↓  
職業奉仕→社会奉仕  
↓  
会員増強のための規定大幅見直し  
↓  
職業人限定からの惜別→決議23-34はどうなった?

13日は今年度第1回目の寺小屋が開催されました。講師は合田倫佳理事、帯広ロータリークラブ伝統と歴史、その意味とは(概要編)と題し、シカゴではじまったロータリーは経済的互惠関係ではじまり、仕事のつながりから職業奉仕、そして地域のお困りごとの解決から社会奉仕の意識が芽生えたこと。近年の会員増強のための規定の大幅見直しにより、会員選考の際の職業人限定からの惜別。このことについて日本人ロータリアンの困惑などについてお話いただきました。結果、あっという間に時間が経過し、合田理事がタイトルに示したとおりの概要編となりましたので、多分次回の続編も担当されるような気がしています。



その2日後、同じくふく井ホテルにて中長期ビジョン委員会が開催されました。その内容につきましてはこの後のプログラムにて紹介されると思いますが、今年度は各委員長のみなさんにも委員を兼務していただいております。各委員会でも共有していただき、みなさんの意見を中長期ビジョン委員会へ反映させ、それをさらにフィードバックしていただければと思います。

その2日後、同じくふく井ホテルにて中長期ビジョン委員会が開催されました。その内容につきましてはこの後のプログラムにて紹介されると思いますが、今年度は各委員長のみなさんにも委員を兼務していただいております。各委員会でも共有していただき、みなさんの意見を中長期ビジョン委員会へ反映させ、それをさらにフィードバックしていただければと思います。



そして最後になりますが、今週の日曜日は家族野遊会でした。午前中のアトラクションは3コースありましたが、私は長澤学長のキャンパスツアーに参加、通常は見ることができない場所や、図書館など一般でも利用できる場所があることを知りました。

私としては昨年までカウンセラーを務めたナダさんと久しぶりに会うことができ、ナダさんも大変喜んでくれました。

馬車引きゲームは、みなさん身体大丈夫でしたか?みたとところ大丈夫そうでしたので、安心しました。ちなみに私たちのチームは最下位でした!

お土産にいただいた碧雲蔵のお酒のラベルが帯広畜産大学でかわいらしい特別仕様でいい記念になりました。

最後になりますが、暑いなか、準備から運営、片付けまでやっていただいた親睦活動委員会の皆様、本当にありがとうございました。改めて感謝申し上げます。

以上で会長報告を終わります。本日もよろしくお願いたします。

## ■プログラム「中長期ビジョン委員会に関する意見交換」 (中長期ビジョン委員会)

中長期ビジョン委員会担当例会 長澤 秀行 委員長



1935年(昭和10年)に日本で16番目に発足した帯広ロータリークラブは、今年88目を迎えます。まさに「歴史と伝統のあるクラブ」です。今後迎える100周年を念頭に、計画的にクラブ活動の総点検(いわゆるグレート・リセット)を行うことを目的として、竹川博之会長年度に特別委員会として本委員会が設置されました。そして、工藤大輔会長年度においても、当委員会が継続されました。

ロータリークラブは世界最大のボランティア団体ですが、ロータリー活動の基本は、「職業奉仕を通じて会員同士が親睦を図ること」というのが私の理解です。まさに、今年度のスローガンである「Merry Rotary」です。

ロータリー活動を継続・維持するために、変化することが大切です。このことを念頭に、鶴見誠一郎2500地区ガバナーのスローガンは「今こそ、変わる勇気を!」としています。

社会の変化に対応して事業内容を変化させることは、老舗の要件でもあります。また、毎年、新入生を受け入れる大学は、新世代、いわゆるZ世代への対応が必要となります。Z世代は、現在28歳から13歳の世代を指しています。Z世代はスマホ世代やデジタルネイティブなどと呼ばれることからわかるように、イン

ターネットが普及してから生まれ、SNSなどを活用する世代です。ロータリークラブへの入会にはまだ早いかもしれませんが、アクトクラブは、Z世代が中心です。もう一度繰り返しますが、「ロータリー活動を継続・維持するために、変化することが大切です。」そのために、変わる勇氣が必要です。

工藤大輔会長年度の本委員会は、合田倫佳担当理事のもとに、小白智志副委員長、外崎裕康副委員長のほか、村松一樹会長エレクト、各委員会の委員長をメンバーとして構成されています。なぜ、構成メンバーに各委員長を加えたのかというと、帯広クラブの継続性を確保するためには、意思の疎通、情報共有、共通理解が必要であり、中長期ビジョン委員会の議論を各委員会の委員長に共通理解をしてもらいたいというのが、工藤大輔会長の意向でした。更に、ロータリー活動の理解を深めるために、各委員会の活動を知る必要がある。すなわち横の連携も必要ということで、「各委員長をビジョン委員会メンバーとする。」ということでした。各委員会メンバーと情報共有し、会員からの提案や要望などについても、中長期ビジョン委員会で議論できればと思います。

9月15日に、中長期ビジョン委員会を開催しました。本日は、その場で議論された内容の一部を紹介します。

まず、「委員会の開催が遅い！本来は、活動計画書の作成前(4月頃)に開催すべき」という意見でした。また、「地区大会への参加者が少ない！」という意見がありました。合田担当理事からは、委員会活動の在り方、活動内容の構築など、本来あるべき姿について説明がありました。地区大会は、本来、会員全員が万難を排して参加するものであるとのことでした。役員や委員長のみではなく、すべての会員の皆さんが参加されることで、「帯広ナイト」はより楽しいものになります。

「議論ばかりじゃだめ！ルールを作って提示すべき」という意見がありました。確かに、具体的な内容を、特に、新入会員に対しては、入会時に示す必要があります。今後、確定した「歴史と伝統」に関係するルールをA4一枚程度にまとめて、会員に提示することにしたいと思います。

出席委員会の河村知明委員長から、「会員外の参加でイベント開催を行い、ロータリー活動をアピールすべき」との意見がありました。また、「他のボランティア団体とのコラボは禁止されている。」との情報もあり、今後、真意を確かめることとしました。

親睦活動委員会の板谷圭祐委員長からは、前年度委員長からの情報は委員会活動に非常に貴重であり、さらに情報共有を活性化することが大切であるとの発言がありました。

国際奉仕委員会の高橋弘史委員長からは、「特になし」という発言のあと、いくつか指摘されました。「委員会メンバーを増やしてほしい。」「歴史と伝統は第三者が評価すること！」「帯広らしさとは何か。」など、切実で的確なご意見をいただきました。

その他、広報委員会の花岡寿美代委員長から、「例会(卓話)の発言内容は、できればデータで広報委員会へ事前に知らせてほしい」との要望がありました。(私は、事後になってしまいました)パワーポイントのページを張り付けるのではなく、要約した内容を広報委員会に提供することが大切です。

他にも、ビジョン委員会では、多種多様な意見交換がありました。「時間を守る」は基本のことで、SAAの役割、権限を強化すべき。「長幼の序」を基本として、名前の読み上げは、年齢順か入会順か、個人かロータリアンかの分類は明確か。「答えは、ハイカイエス」はどこまで守るべきなのか。「ロータリーの友情に免じて」は、何がどこまで許されるのか。

今後、中長期ビジョン委員会では、帯広クラブロータリークラブの「歴史と伝統」について、「何を守り、何を变えるか。何のため

に守り、何のために变えるのか。」を整理して、会員の皆様に納得していただけるルールを作成し提示したいと思います。今後とも、ご協力をよろしくお願ひいたします。



## ■会務報告

猿川 陽介 幹事

- ①帯広南RC、夜間移動例会開催のご案内  
日時 9月25日(月)午後6時30分 場所 北の屋台
- ②帯広西RC、夜間例会開催のご案内  
日時 9月28日(木)午後6時30分 場所 北海道ホテル
- ③帯広RAC、「第30回地区協議会」開催のご案内  
日時 9月30日(土)午後1時受付開始  
場所 帯広の森アイスアリーナ  
懇親会会場:ホテル日航ノースランド帯広 午後7時
- ④帯広北RC、9月29日(金)の例会は、休会と致します。  
帯広西RC、10月5日(木)の例会は、地区大会の繰下げ例会と致します。  
帯広南RC、10月9日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

## ■委員会報告

### 【ニコニコ献金】

<讚岐 武史 会員>

テーブル100%です。

<長澤 秀行 会員>

本日、例会を担当させていただきます。

<梶野 宗一郎 会員>

楽しい家族野遊会ありがとうございました。親睦活動委員会の皆さんお疲れ様でした。妻も友人も景品が当たり大喜びでした。

<板谷 圭佑 会員>

9/17に行われた親睦家族野遊会には、71名の多くのご参加を頂き、皆さまの御協力のもと、無事に大きな事故もなく終わることが出来ました。ありがとうございました。12/13の年末家族会、1/10の新年交礼会に向けて、委員会メンバーで一致団結して、企画していきたいと思っています。

<誕生記念日祝(7月)>

平 征浩 会員

<誕生記念日祝(7月)>

飛岡 抗 会員

<配偶者様お誕生記念日祝(9月)>

三谷 郁央 会員

<結婚記念日祝(9月)>

梅安 雅満 会員 高橋 常夫 会員

## 【出席報告】

会員総数:90名(内 免除会員1名)

出席者数:58名(内 免除会員0名 内Zoom参加者3名)

本日の出席率:64.4%

## ■次週プログラム予定

9月17日(水)「クラブにおけるIT環境整備について」(広報委員会)



↑携帯サイトが  
できました。  
バーコードリー  
ダーで読み込む  
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30

●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日

●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 花岡寿美代 副委員長 / 渡辺喜代美・荒井 純一

委員 / 石神 美代・櫻井 博一・千葉 直樹

●ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日

●TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033